

＜先週の説教から＞

『ルカ82 — いやしと問題の解決』

武田真治 牧師

ヨエル書 2:21～24 ルカ福音書 9:39～43A

本日は8月9日です。長崎に原爆が落とされたことを覚えて、戦争のない平和の実現のために祈る思いを強くしたいと思います。私が広島におりました時に、耳にした言葉に『こんな町の中に原爆を落とすなんて悪魔の仕業としか思えない』という言葉でした。人は理解できないような悲惨な状況を目の当たりにするとそのように感じるのではないかと思います。今日の箇所の父親も同じような思いだったのではないのでしょうか。即ち『先生、どうかわたしの子を見てやってください。悪霊が取りつくと、この子は突然叫びだします。悪霊は泡を吹かせ、さんざん苦しめて、なかなか離れません。この霊を追い出してくださるようにお弟子たちに頼みましたができませんでした。』です。

その父親に対してイエス様は『なんと信仰のない、よこしまな時代なのか。』と叱責をなされながらも、その父親の子どもを癒してあげようとされます。ただし、その際にイエス様は父親に『あなたの子供をここに連れて来なさい。』と命じられています。イエス様は、この前の8章で会堂長の娘を癒された時には、その家にまで行って病を癒されましたから、ここもそうされてもよいとも思いますが、敢えて『ここに連れて来なさい』と命じられていると言い得ます。ただ、既に父親が言っています様に大変な状態にある子供でした。連れて来るということはその様子を人々の目にさらすことにもなります。それでもし病が治らなかったなら、父親もこの子も恥ずかしい思いをさせるだけになるかもしれないのでした。まさにここで“父親の信仰が試されている”と言い得るのではないのでしょうか？しかし、父親は決心をして子どもをイエス様の元に連れてきました。案の上『その子が来る途中でも、悪霊は投げ倒し、引きつけさせた。』のでした。でも、その父親の“信仰”を見られて、イエス様は『汚れた霊を叱り、子供をいやして父親にお返しになった。』のでした。

もう一つ、弟子たちの信仰もここで問われているとも読め

ます。既にイエス様は12弟子全員に病気を癒す権能を授けられました。それなのに自信がない、無理だとなるのは、授けられた事を信じ切っていないことになるのです。マルコ福音書では“こっそり”弟子たちが後から、なぜ自分たちができなかったのかをイエス様に尋ねているところが記録されています。それこそ力不足や信仰不足を指摘されてもよいのに、『この種のもの、祈りによらなければ決して追い出すことはできないのだ』と言われています。この場合の“祈り”は『神様の力をここに注いでください』という願いでしょう。自分たちの力や信仰の強さではなく“神様の力”を願うしかないという事でしょう。ルカではこの癒しの奇跡を見た民衆が『人々は皆、神の偉大さに心を打たれた。』と記されています。イエス様の凄さではなく“神の偉大さ”に感動したということはイエス様も『神様の力をここに注いでください』と祈られ、そして奇跡が起こったことを示しています。この点が大事です！ 私たちもそう祈らなければ！

【今週の集会】

*聖書研究・祈禱会 I. 8月19日(水) 20:00
II. 8月20日(木) 10:30

聖書研究・祈禱会 ヨブ記
祈禱主題：社会教育委員会を覚えて
担当者：(水)IK (木)HI
祈りに覚える人 (水)TSさん (木)TMさん

【教勢報告】

主日礼拝 男17 女47 計64
祈禱会・日曜学校 休会

【次週主日礼拝】 8月23日(日)

聖書：イザヤ書 11:1～10
ルカによる福音書 9:46B～48

説教：「ルカ84 — いちばん偉い人は？」
武田真治 牧師

讃美歌：472(1)、32、287(1～3)、
【次週当番表】 287(4～6)、510、24

司式：IH長老 奏楽：SY 礼拝：KY長老
献金：TM TY 受付：KH SY
会堂準備：OK KH KA TN
NE

看板：NY 週報：YS お花：休み

【次週集会予定】

礼拝前：・日曜学校 ・聖書輪読会 ・はこぶねルーム
礼拝後：・牧師と語る会 ・お茶の会 ・幼稚園理事会
・礼拝/牧会/伝道/社会教育 各委員会

67-33

週報

2026年度 教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

2026年 8月 16日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549